保存版

佐々町 総合ハザードマップ

わが家の防災メモ

わが家の避難先	災害時、家族の集合場所

家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

■いざという時の連絡先

機関名	電話番号	機関名	電話番号
役場	62-2101	ガス会社	
消防佐々出張所	41-1119	電話会社	
江迎警察署	66-3110	病院	
電力会社			

緊急・災害情報を緊急速報メールで配信します

災害などの緊急時において、佐々町が発表する避難勧告や、津波情報などの緊急情報を、NTT ドコモ・au・ソフトバンクが提供する緊急速報メールサービスを利用して、佐々町内の方に配信します。緊急速報メールの受信にかかる通信料は無料です。

対応機種及び受信設定の方法は、それぞれの携帯電話会社のホームページでお確かめください。

提供する情報

- ●避難準備情報
- ●避難勧告
- ●避難指示
- ●津波情報
- ●国民保護情報
- ●その他緊急情報

災害用伝言ダイヤル「171」

大規模な災害が発生した時の「声の伝言板」です。
⇒このサービスは、NTTのサービスです。
また、携帯電話では利用できません。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
171 にダイヤルする	171 にダイヤルする
録音の場合 1 を押す	再生の場合 2 を押す
電話番号を市外局番から押す	電話番号を市外局番から押す
30秒以内に録音する	再生される

防災・行政情報配信メールを利用しましょう

緊急情報を事前登録された方にお知らせします!

登録方法

1. 携帯電話でQRコードを読み取り、空メールを送信します。
2. 本登録の案内メールが数分以内に届きます。
3. 案内に従って登録を行ってください。
4. 登録完了後、別途登録完了メールが届きます。

お問い合わせ：長崎県　佐々町役場　総務課・建設課
住　　所：長崎県北松浦郡佐々町本田原免168番地2
TEL：0956-62-2101　FAX：0956-62-3178

平成31年3月 製作

防災・減災対策の基本

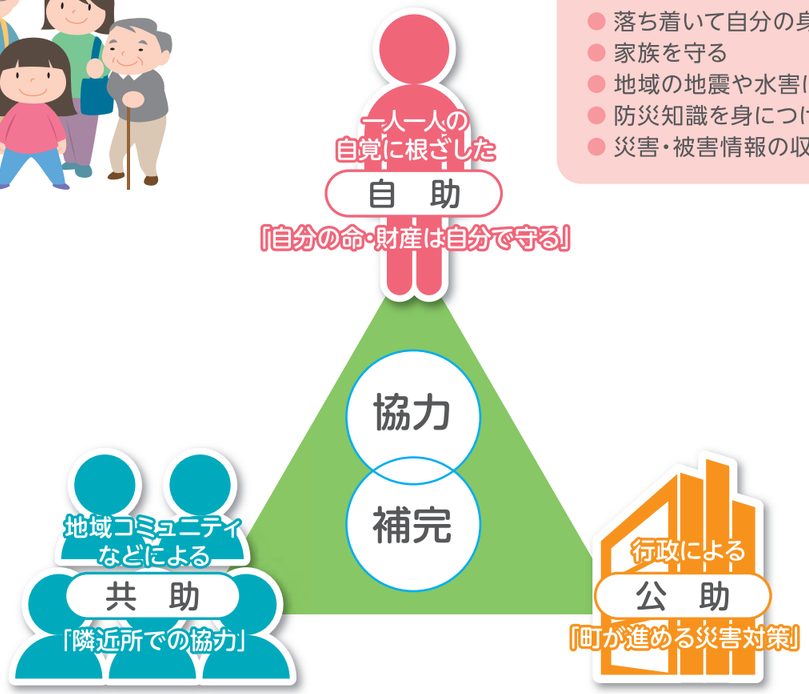
●はじめに●

佐々町総合ハザードマップは、住民の皆さんが地域の防災を考えるために役立つ情報をまとめたものです。地震や水害などの自然災害は、いつ発生してもおかしくはありません。想定される災害を知り、いざという時、あわてず行動できるように、この冊子を使って家族や地域で話し合いましょう。

住民の皆さんの生命を守る局面で最も大切なことは、住民の皆さん自身の力であるといわれています。

災害による被害を少しでも軽減するために、行政が行う防災対策である「公助」とともに、自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」を高めることが防災・減災の基本になります。

住民の役割
- 落ち着いて自分の身を守る
- 家族を守る
- 地域の地震や水害について知る
- 防災知識を身につける
- 災害・被害情報の収集



住民の役割
- 協力して消火・救出活動
- 地域防災活動の推進

事業所の役割
- 顧客、従業員などの安全確保
- 地域との助け合い

行政の役割
- 防災マップなどの作成及び公表
- 被害想定・被害軽減策の検討
- 地域防災体制の仕組みづくり

日頃からの水害・土砂災害への備え

あなたと家族は大丈夫?

どうやって情報を入手するの? 共通編……P6

避難はどうするの? まずは避難について考えよう 共通編……P7

大雨が降るとどうなるの? 風水害編……P9

大雨のとき、どのように避難するの? 風水害編……P15

地震災害から命を守るためには? 地震災害編……P33

日頃からの備えは? 日頃からの備え……P37

災害に「負けない」地域づくり

「災害に強く、生活の安全が守られているまち」をめざして

近年発生した東日本大震災や熊本地震などの災害から、自然災害の脅威を改めて思い知らされました。

また、異常気象などの影響により予想をはるかに上回る局地的な集中豪雨が全国各地で頻繁に発生しています。

これらの災害による被害を最小限にとどめるためには、町民一人一人が「自分の身は自分で守る」、そして「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えが大切であり、人と地域のつながりが必要になります。

このたび、このようなことを踏まえて「総合ハザードマップ」を作成しました。

このマップには、皆さんがお住まいの地域にどのような災害の危険性があるかを認識していただくための情報や災害時に注意すべきことなどをわかりやすくお示ししています。

このマップをご家庭の目につく場所に備えていただき、日頃から災害に対する心構えや災害に対する取り組みにご活用していただきますようお願い申し上げます。

平成31年3月　　佐々町長　**古庄　剛**

佐々町で起こりうる災害とは

土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）— P9

町内は、山々に囲まれています。雨や地震などの影響によって、土石流やがけ崩れなどが発生すると甚大な土砂災害となる可能性があります。

内水はん濫 — P10

激しい雨が降り続くと、その雨水を処理しきれず、側溝などから水があふれ、内水はん濫が発生する可能性があります。佐々町では過去にもこのような内水はん濫が幾度も発生しています。

外水はん濫 — P10

激しい雨が降り続いた場合、佐々川の水位が上昇し、堤防が決壊する恐れがあります。このような堤防の決壊が起きると、町内の大部分が浸水し、甚大な水害となります。

地震 — P33

佐々町では、これまで大きな地震は発生していませんが、今後、大きな地震がいつどこで発生するかはわかりません。
そのため、地震に対しても警戒しておく必要があります。

目 次

共通編

命を守るための3ヶ条 …… 05
まずは避難について考えよう …… 07
避難所一覧 …… 08

風水害編

大雨が降ると、どのような危険があるの? …… 09
いつ避難すればいいの? …… 11
私はどのように避難行動をすればいいの? …… 13

ハザードマップ

大茂・江里 …… 17-18
神田・さざん花 …… 19-20
北・若佐・松瀬・市瀬・鴨川 …… 21-22
木場 …… 23-24
栗林・角山・牟田原・野寄 …… 25-26
四ツ井樋・佐々南・東町・口石・芳ノ浦・西町・真申
土手迎・浜迎・水道・沖田 …… 27-28
志方・古川 …… 29-30
中央通・新町・里・里山・千本 …… 31-32

地震編

佐々町にも地震は起こるの?どのような危険があるの?
…… 33
地震（ゆれやすさ）ハザードマップ …… 35
津波ハザードマップ …… 36

日頃からの備え

被害を最小限に抑える対策を実施しよう …… 37
地域で協力しよう …… 39
非常時持出品・非常備蓄品を準備しておこう …… 40
家族で防災会議をしよう …… 41

命を守るための３ヶ条

災害から大切な命を守るためのポイント

●積極的に情報を収集する

避難をするためには、気象などの情報を収集することが必須です。テレビやラジオ、インターネットなどから積極的に情報を収集し、自分がとるべき行動を判断しましょう。

●浸水や土砂災害が発生する前に行動する

浸水が始まってからの屋外への避難は大変危険です。避難中に災害が発生して被害にあってしまうケースもあります。行動が遅れたら無理に屋外へ避難することはやめて、自宅2階など身近な高い場所へ避難しましょう。

●避難したけど災害が発生しなかったらラッキーと思う

早めに避難して、浸水も土砂災害も発生しなかったとき、損をした気持ちになるかもしれません。しかし、ものは考えようです。実践的な避難訓練ができてラッキーだったというような発想も大切です。

一番避けたいのは、前回避難して何も起きなかったから、今回もきっと何も起きないと考え、避難せずに被害にあってしまうことです。

避難に役立つ方法を知っておこう

避難に役立つ情報とは?

大雨時に発表される情報の種類と意味を知っておきましょう。

気象情報

特別警報
さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときの情報

警　報
重大な災害が起こるおそれがあるときの情報

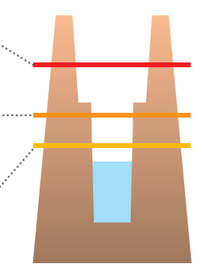
注　意　報
大雨や強風などによって災害が起こるおそれがあるときの情報

河川水位情報

はん濫危険水位
いつはん濫してもおかしくない水位

避難判断水位
避難準備などのはん濫発生に対する警戒を求める水位

はん濫注意水位
はん濫発生に対する注意を求める水位



土砂災害情報

土砂災害警戒情報
土砂災害の危険性が高まっているときの情報

避難情報

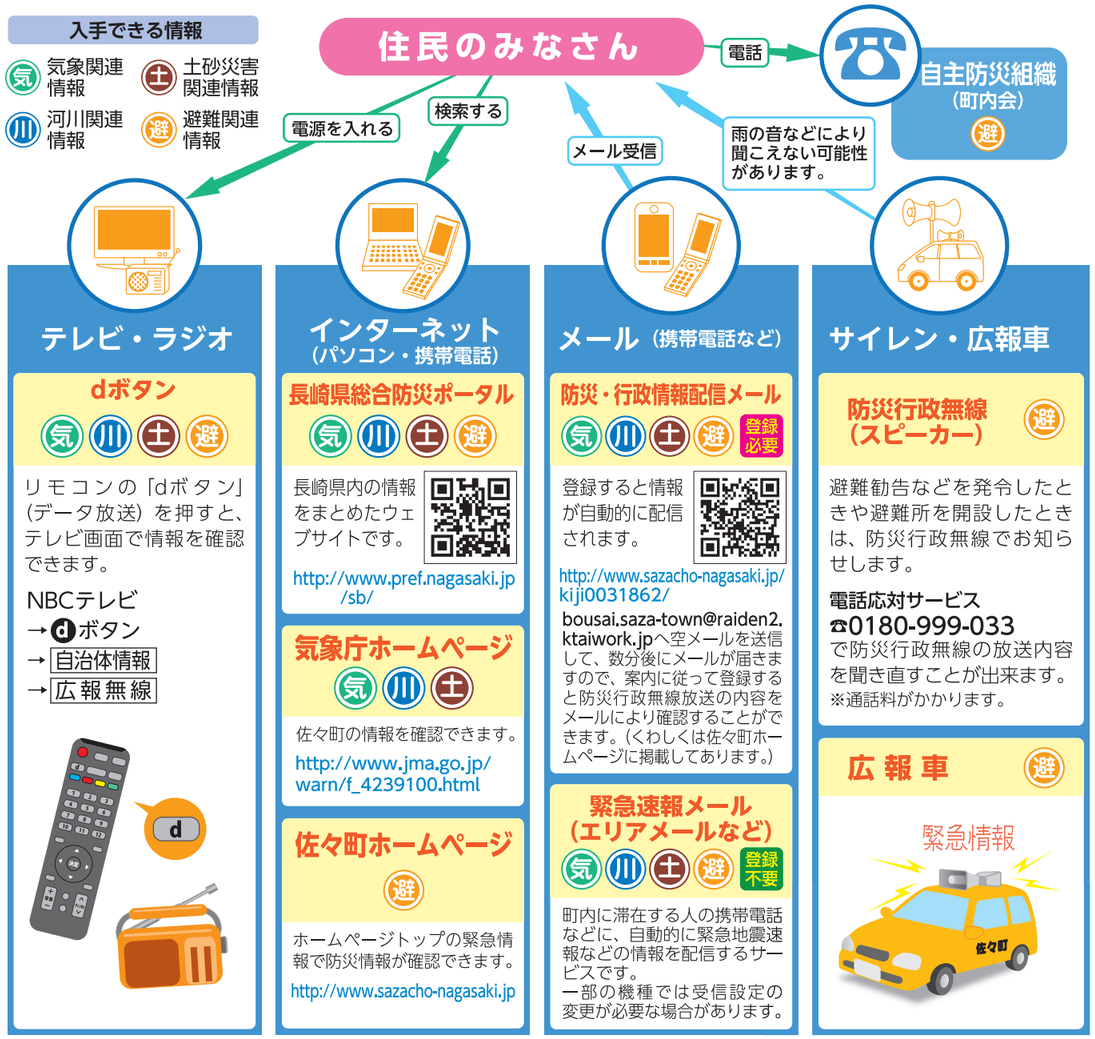
避難指示（緊急）
洪水・土砂災害などにより著しい危険が切迫しているときに出される情報「避難勧告」より強い意味で発令

避難勧告
安全のため、早めの避難をうながす情報

避難準備情報（高齢者など避難開始）
高齢者などで移動に時間を要する人とその支援者は避難を開始し、その他の人は、速やかに避難ができるよう準備をうながす情報

どうやって情報を入手するの?

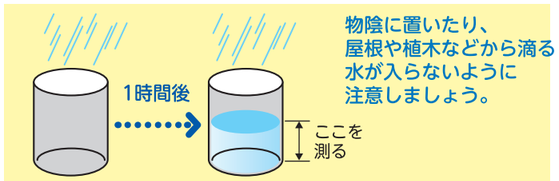
情報源によって、入手できる情報が異なります。各情報源から、どの情報が入手できるか確認しておきましょう。



自分でも降水量を測ってみよう

天気予報でよく聞く「降水量○○ミリ」は、降った雨が溜まった場合の深さを表しています。

1. 円柱形の容器（コップなど）を外に置いて雨水を直接受ける。（※容器の大きさは関係ありません。）
2. 1時間後、ものさしで溜まった雨水の深さを測る。



出典：気象庁ホームページ

佐々町での観測史上最大雨量

10分間降水量	33.4mm	1967年7月9日
1時間降水量	125.1mm	1967年7月9日
1日降水量	371.8mm	1957年7月25日

まずは避難について考えよう

避難はどうするの？

避難とは「難を避ける」ことです。住んでいる地域やその時の状況、人によって方法は異なります。

Q1 避難とは避難所へ行くことなの？

A 避難所へ行くことは、避難の方法のひとつになります。自宅にとどまることが安全な場合は、自宅の2階など**屋内の高い場所**に避難してください。また、親戚宅、知人宅、職場などに移動することも避難の選択肢になります。

Q2 避難所とは？

A 自宅などにいることが危険な場合に**「難」を避けるための場所**になります。洪水や土砂災害など危険性がなくなるまで一時的に身を置く場合や、地震などで自宅が倒壊し一定期間生活する場合があります。佐々町では**3種類の避難所**があります。

指定避難所または指定緊急避難場所

「指定避難所」は、火災や地震などが発生した後、帰宅が困難な場合に、**中長期的に滞在が可能な施設**になります。また、「指定緊急避難場所」は、災害を事前に回避する場合に用いる**一時的な避難場所**になります。

地域自主運営避難所

災害時に臨時的に避難所として利用ができるように**地域（自主防災組織）で自主開設・自主運営を**行う避難所になります。

福祉避難所

介護が必要な高齢者や障がい者など、一般の避難所では**生活に支障がある方を受け入れる**避難所になります。

Q3 避難所はいつ開設されるの？

A **町が避難勧告や避難指示などを発令したとき**や、**大地震が発生したとき**に、施設の安全確認をした後に避難所を開設します。避難所を開設した時は、**防災行政無線などでお知らせ**します。

Q4 避難勧告などが発表されるのを待ってから避難をすべきなの？

A いいえ。周囲の状況や気象情報などの情報から自分が危険と感じたら、**避難勧告などの発令や避難所の開設を待たずに**、周囲の安全な場所に避難してください。

Q5 ハザードマップで浸水する区域の中にある避難所へ避難するの？

A 浸水する区域の中でも浸水深が浅ければ、2階以上へ避難することで安全を確保することが可能な場合もあります。ただし、**必ずしも想定どおりになるとは限りません**。ハザードマップの浸水深などを参考に、**周囲の状況や気象情報などに注意**して避難するかを判断しましょう。

Q6 自力での避難が困難で、すぐに避難できない人はどうするの？

A より**早めの行動と支援が必要**です。いざというときに誰が支援するのかについて**家族や隣近所に相談**しておきましょう。「避難準備・高齢者など避難開始」が発令された場合は、避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は**避難を開始**してください。その他の人は、避難の準備を整えてください。

避難所リスト

佐々町にはたくさんの避難所があります。
いざというときに、どこに避難するか、日頃から考えておきましょう。

指定避難所及び指定緊急避難場所リスト

施設名	所在地	電話番号	種別	災害毎の適正				
				大雨	洪水	土砂災害	地震（揺れ）	津波
神田公園	皆瀬免1185番地の1		緊	○	○	×	○	○
北部地区体育館	神田免21番地12		◎	○	×	○	○	○
北部グラウンド	市瀬免350番地9		緊	○	○	×	○	○
佐々小学校	中川原免111番地1	0956-62-2076	◎	○	×	○	○	○
佐々中学校	本田原免111番地	0956-62-3121	◎	○	×	×	○	○
佐々町公民館	本田原免123番地	0956-62-6294	◎	○	×	×	○	○
佐々町民体育館	本田原免123番地	0956-62-6294	◎	○	×	×	○	○
地域交流センター	本田原免123番地	0956-62-6294	◎	○	×	×	○	○
佐々町文化会館	本田原免146番地	0956-62-3101	◎	○	×	×	○	○
総合福祉センター	市場免23番地1	0956-63-5800	◎	×	×	○	○	○
農業体験施設	平野免220番地	0956-62-6368	◎	○	○	○	○	○
千本公園グラウンド	羽須和免200番地		緊	○	○	×	○	○
口石小学校	須崎免389番地	0956-62-3515	◎	○	○	○	○	○
南部地区体育館	口石免1336番地の1		◎	○	○	×	○	○
第2保育所	小浦免746番地	0956-62-2231	◎	○	○	○	○	○
クリーンセンター	小浦免1163番地20	0956-62-3512	◎	○	○	×	○	○
サン・ビレッジささ	小浦免41番地3	0956-62-3338	緊	○	×	○	○	○

地域自主運営避難所

施設名	所在地	災害毎の適正				
		大雨	洪水	土砂災害	地震（揺れ）	津波
古川町内会集会所	古川免172番地3	○	×	×	○	×
中央通町内会集会所	本田原免237番地9	○	×	○	○	○
志方町内会集会所	志方免466番地1	○	○	○	○	○
栗林町内会集会所	中川原免83番地7	○	×	○	○	○
野寄町内会集会所	野寄免378番地8	○	○	○	○	○
里山町内会集会所	平野免614番地1	○	○	×	×	○
里町内会集会所	羽須和免801番地5	○	○	○	○	○
新町町内会集会所	羽須和免962番地4	○	×	○	○	○
木場町内会集会所	木場免397番地2	○	○	○	○	○
口石町内会集会所	口石免432番地3	○	○	○	○	○
四ツ井樋町内会公民館	須崎免2番地4	○	×	×	○	○
水道町内会集会所	小浦免223番地7	○	×	×	○	○
浜迎町内会集会所	小浦免576番地4	○	×	○	○	○
土手迎町内会集会所	小浦免1306番地	○	×	○	○	○
真申町内会集会所	小浦免1118番地4	○	○	×	○	○
芳ノ浦町内会集会所	小浦免1033番地4	○	○	○	○	○
東町町内会集会所	口石免1612番地45	○	○	×	○	○
西町町内会集会所	小浦免1209番地6	○	○	×	○	○
鴨川町内会公民館	鴨川免201番地26	○	○	×	×	○
市瀬町内会集会所	市瀬免199番地	○	○	○	○	○
松瀬町内会集会所	松瀬免156番地1	○	○	×	○	○
北町内会集会所	松瀬免223番地13	○	○	×	○	○
角山町内会集会所	角山免680番地1	○	○	○	○	○
江里町内会集会所	江里免234番地2	○	○	○	○	○
大茂町内会集会所	大茂免731番地4	○	○	×	○	○
神田町内会集会所	皆瀬免885番地8	○	○	○	○	○
若佐町内会集会所	市瀬免390番地	○	○	×	○	○
さざん花町内会集会所	皆瀬免1045番地19	○	○	○	○	○
佐々南町内会集会所	口石免1336番地1	○	○	×	○	○
千本町内会集会所	口石免282番地3	○	○	○	○	○

福祉避難所リスト

施設名	所在地
特別養護老人ホーム 虹の里	八口免805番地3
特別養護老人ホーム あやめの里	八口免805番地3
介護老人保健施設 さざ・煌めきの里	八口免805番地2
介護付有料老人ホーム ライフケア・まえだ	市場免50番地
グループホーム　愛乃郷	羽須和免927番地

表の見方

種別欄：「◎」指定緊急避難場所 兼 指定避難所
「緊」指定緊急避難場所

災害毎の適正の欄：
「○」該当災害に対して安全性が確認されている

大雨が降ると、どのような危険があるの？

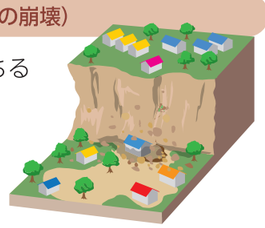
まずは風水害はどのようなものか、なぜ起こるのか、起こるとどうなるのか、知っておこう！

土砂災害とは

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

斜面が突然崩れ落ちる災害。

地震でも発生する。



土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒になって津波のように襲ってくる災害。

前兆現象

- ■ がけから水が湧き出ている
- ■ がけに割れ目が見える
- ■ がけから小石がぱらぱらと落ちてくる
- ■ 山鳴りがする
- ■ 急に川の水がにごる
- ■ 川の水に流木がまざる
- ■ 雨が降り続いているのに、水位が下がる
- ■ 山からいつもと違う匂いがする

山が崩れるとどうなるの？

家屋など建物が倒壊するおそれ

土砂の大きな力によって、家屋など建物が倒壊する可能性があります。

集落が孤立化するおそれ

道路などに土砂が流出すると、道路が寸断されるため、集落が孤立化する場合もあります。

出典：災害写真データベース（一般財団法人消防科学総合センター）

暴風・雷・竜巻にも注意しよう

積乱雲が発達すると雷・暴風・竜巻が発生する可能性があります。積乱雲が発達すると……

積乱雲（入道雲）の下で急な大雨・雷・竜巻が発生し、大きな被害につながります。

落雷の危険が高くなります。

●落雷

まわりより高いところに落ちやすい！周囲が開けた場所は危険！

●側撃雷

木の幹や枝から雷にうたれることも！木のそばは危険！

竜巻が発生することがあります。暴風や竜巻が発生することがあります。

- ●建物の倒壊 ●屋根瓦が飛散
- ●飛来物の衝突
- ●電柱・樹木の倒壊
- ●テントなどの飛散　　など

水害とは

どこでも起こる可能性のある 内水はん濫

【発生の仕方】

雨水を大きな河川へ流す排水が追いつかず、小さな川やマンホール、側溝から水があふれるはん濫。

【特徴・予測】

- ・短時間の局地的大雨でも発生し、突如として浸水する。
- ・事前の予測が困難であり、警報などが発表されていなくても発生する場合がある。

佐々川のはん濫【洪水】（外水はん濫）

【発生の仕方】

大雨により大きな河川の水量が増え、堤防が決壊したり、堤防を越えて水があふれだすはん濫。

【特徴・予測】

- ・雨が降っていなくても、上流域で大雨が降っていれば発生する可能性がある。
- ・降雨状況や水位から比較的、事前の予測が可能である。

はん濫するとどうなるの？

道路の冠水

エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水

流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後は土砂や汚泥が堆積します。

家屋の倒壊

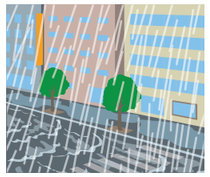
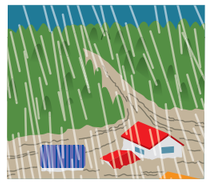
河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

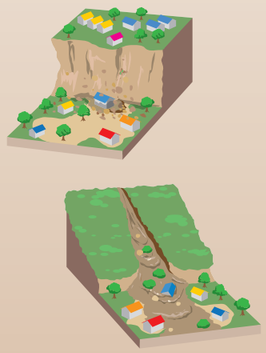
いつ避難すればいいの？

情報と行動の目安

※この表はあくまでも目安です。雨の降り方などの状況によっては、表のような順番で情報が出るとは限りません。
各種情報を積極的に収集し、自らの判断で避難してください。

情報の入手方法は 6 ページへ

雨の降り方	周囲の状況 災害発生の目安	気象情報	河川水位情報	土砂災害情報	避難情報	住民の皆さんのとるべき行動
		雨量情報を参考に気象台が発表	長崎県が公表する水位観測所における水位情報（佐々川）	雨量情報を参考に気象台と長崎県が共同で発表	気象情報、洪水予報、土砂災害情報などを参考に佐々町が発令	
強い雨 1時間雨量 20～30mm未満	 地面一面に水たまりができる。	**大雨・洪水注意報** 注意報は、**災害が起こるおそれのあるとき**に、注意を呼びかけて行う予報				● 最新の気象情報などを入手する。 ● 避難所の位置を確認する。
激しい雨 1時間雨量 30～50mm未満	 道路が川のようになる。	**大雨・洪水警報** 警報は、**重大な災害が起こるおそれのあるとき**に、警戒を呼びかけて行う予報	**はん濫注意水位** 河川のはん濫の発生を注意する水位		**避難準備情報（高齢者など避難開始）** 災害発生の可能性が予想される段階で発令	● 家族などとの連絡、非常持出品の用意など、避難準備を開始する。 ● 高齢の方や障がいのある方を避難させるための支援行動を開始する。
非常に激しい雨 1時間雨量 50～80mm未満	 水しぶきであたり一面が白っぽくなる。		**避難判断水位** 避難準備情報発表の目安となる水位	**土砂災害警戒情報** 土砂災害の危険性が高まった場合に発表 雨の降り方や土砂災害の前兆現象（9ページ）にも注意	**避難勧告** 予想される災害が、自宅から避難所などへの移動を伴う避難行動が必要となる場合に発令	● 指定された避難所や自宅2階などへの避難行動を開始する。
猛烈な雨 1時間雨量 80mm以上	 大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。	**記録的短時間大雨情報** 数年に一度の猛烈な雨（1時間雨量110㎜）が降った時に発表	**はん濫危険水位（特別警戒水位）** 河川がはん濫するおそれのある水位		**避難指示（緊急）** 災害が発生する危険性が非常に高いと判断され、切迫した避難行動が必要となる場合に発令	● 避難中の方は、避難行動を速やかに完了させる。 ● 避難行動を開始されていない方は、避難行動を速やかに開始する。なお、屋外への避難行動が困難な場合は、命を守る最低限の行動を開始する。



自宅の外へ避難

自宅に待機

危険大

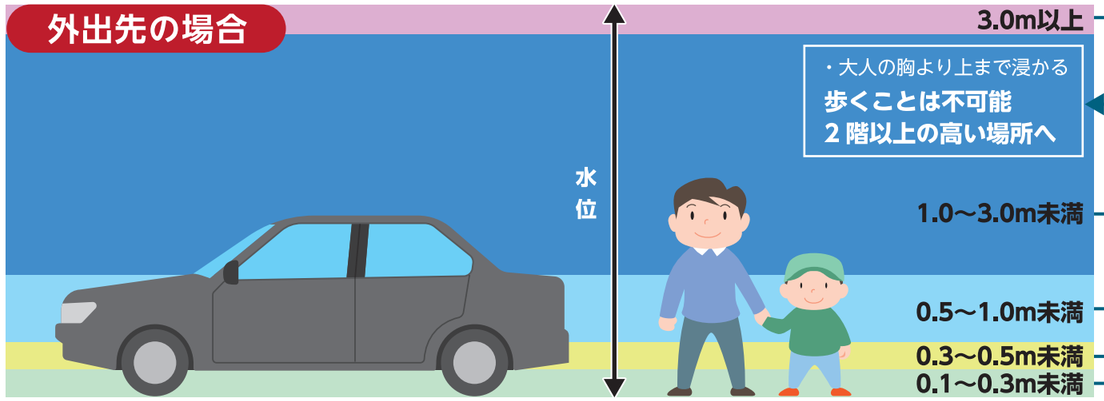
特別警報	経験したことのないような大雨や暴風などが予想される時に発表	→	直ちに命を守る行動をとる

私はどのように避難行動をすればいいの？

マップの見方

地図で自宅や、勤務先、学校、頻繁に立ち寄る場所などを確認し、下の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認しておきましょう。また、ここで示す内容はひとつの目安です。身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとりましょう。

外出先の場合



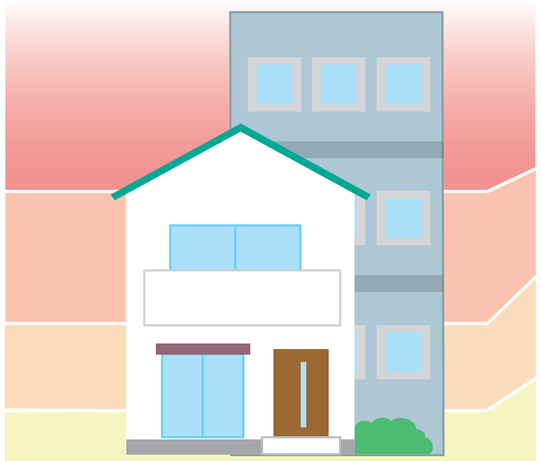
いち早くその場所から移動する

・大人の腰あたりまで浸かる
歩くのは危険
2 階以上の高い場所へ

・大人の膝あたりまで浸かる
・自動車のエンジンが停止
歩く場合は十分注意
自動車から退出

・子供の膝あたりまで浸かる
・自動車のブレーキ性能が低下
子供が歩くのは困難、高い場所へ
自動車は安全な場所へ移動

自宅にいる場合



ステップ1
あなたのお家の位置は何色？

ステップ2
あなたのお家は何階建て？
(集合住宅の方は、住んでいる階数)

ステップ3
あなたの家庭での行動指針

5.0m以上（3階部分まで水没のおそれ）	4階以上 / 1～3階
3.0～5.0m未満（2階部分まで水没のおそれ）	3階以上 / 1～2階
0.5～3.0m未満（1階部分まで水没のおそれ）	2階以上 / 1階
0.5m未満（床下浸水のおそれ）	

自宅の外へ避難

洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。
災害発生前の早めの避難が必要です。

詳しくは 12 ページへ

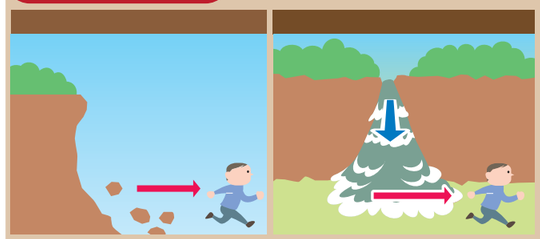
自宅に待機

自宅の安全な場所に待機することが可能です。

詳しくは 12 ページへ

川の近くなど不安がある方は自宅の外へ避難しましょう。

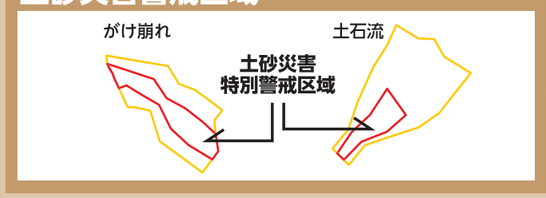
土砂災害



斜面から離れる

谷筋に対して垂直に逃げる

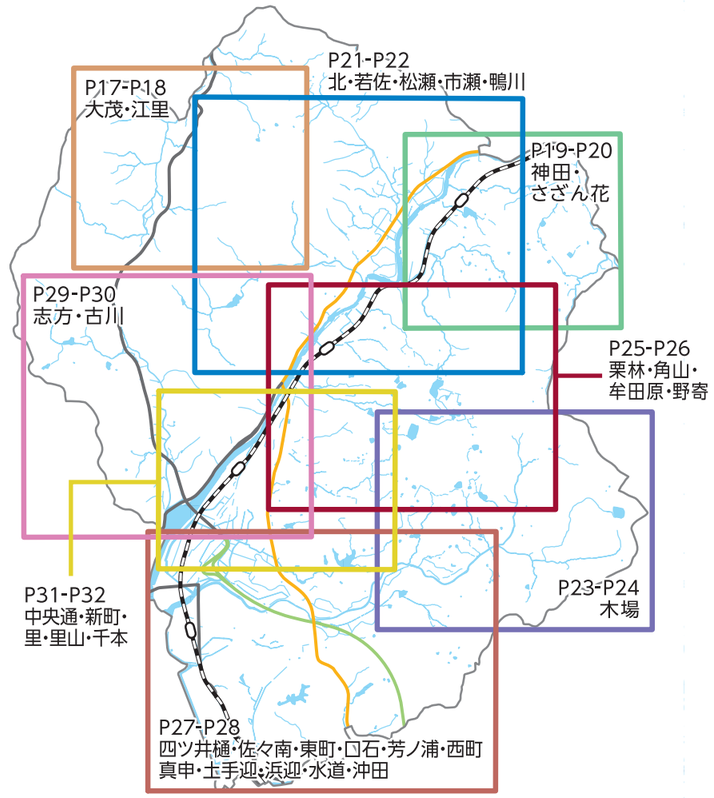
土砂災害警戒区域



屋外への避難が困難な場合は、自宅2階の山と反対側の部屋へ

前兆現象は 9 ページへ

あなたのお家はどこ？



ハザード情報はどのように調べたの？どのような状況を想定しているの？

土砂災害

土砂災害のハザード情報は、長崎県が調査を実施し、公表した「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」です。この調査は、３次元の地形図を用いた解析や現地調査を行い、土砂災害のおそれのある区域を明らかにしています。

内水はん濫

内水はん濫のハザード情報は、佐々町が独自に調査したもので、検潮所で記録された過去最高潮位時に、50年に１回程度発生する規模の雨が降った場合を想定しています。

外水はん濫

外水はん濫のハザード情報は、長崎県が調査・公表したもので、50年に一回程度発生する規模の雨が降った場合を想定しています。

参考　P17-18には、1,000年に1回程度発生する規模の雨が降った場合のハザード情報も掲載しています。

私はどのように避難行動をすればいいの？

自宅外の避難を行う場合には

日頃しておくこと

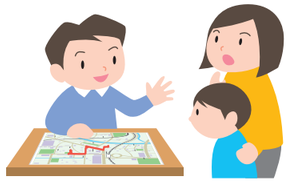
1. 自宅周辺の災害危険性を把握しておきましょう

災害危険性の把握は 17-32 ページへ

洪水や土砂災害が起きたときに、自宅が倒壊したり、深く浸水したりする危険性がないかを把握し、自宅の外へ避難する必要があるのかを確認しておきましょう。

2. 避難先・経路・方法を確認しておきましょう

安全な避難先と避難経路を、家族や地域で確認しておきましょう。また、徒歩で避難することが基本です。事情により、自家用車での避難をする場合は、早めの避難開始が重要です。



3. 非常持出品の準備をしておきましょう

非常持出品の準備は 40 ページへ

大雨が降りそうになってきたら…

情報と行動の目安は 6 ページへ 11-12 ページへ

4. 情報を収集して避難判断をしましょう

5. ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

6. 注意して避難しましょう

動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。

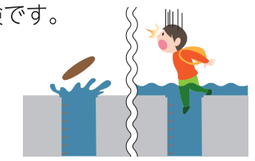
河川や水路などには、近づかないようにしましょう。

やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

長靴はぬげる危険があります。

水の中の障害物に注意しましょう。

マンホールに気づかず吸い込まれてしまう場合があり、危険です。



お年寄りや身体の不自由な人などの手助けをしましょう。

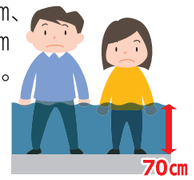
幼児は浮き袋やベビーバスなどが便利です。

はん濫による水は汚水が混ざっているので、むやみにさわらないようにしましょう。

車は約30㎝の浸水深で走行困難になります。

人が歩ける深さの目安は男性で70㎝、女性で50㎝くらいです。

※水の流速によっては危険なことがあります。



危険な場所には近寄らないようにしましょう。

7. 避難所では互いに気を遣いましょう

避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することになります。お年寄りや障がいのある方、乳幼児を抱えた方などへの気配りを心がけましょう。

●地域で協力を

普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力し合い、災害による犠牲を防ぎましょう。

大茂・江里地区ハザードマップ

N
W E
S

0 100 200 300m

1:7,500

江里町内会集会所

大茂町内会集会所

災害時の避難施設

- 地域自主運営避難所
- 指定避難所または指定緊急避難場所
- 福祉避難所

その他の施設など

- 消防・消防団詰所
- 警察

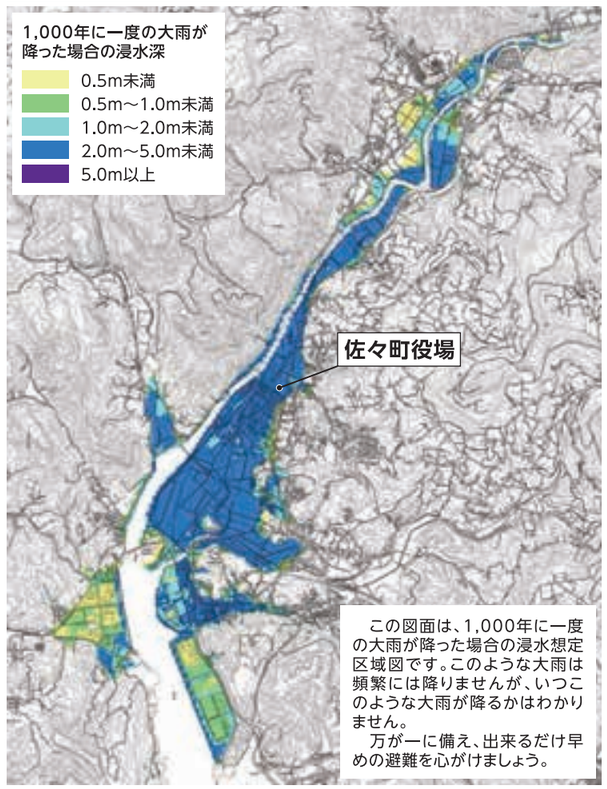
道路

- 国道
- 県道
- 西九州自動車道

災害の恐れのある範囲

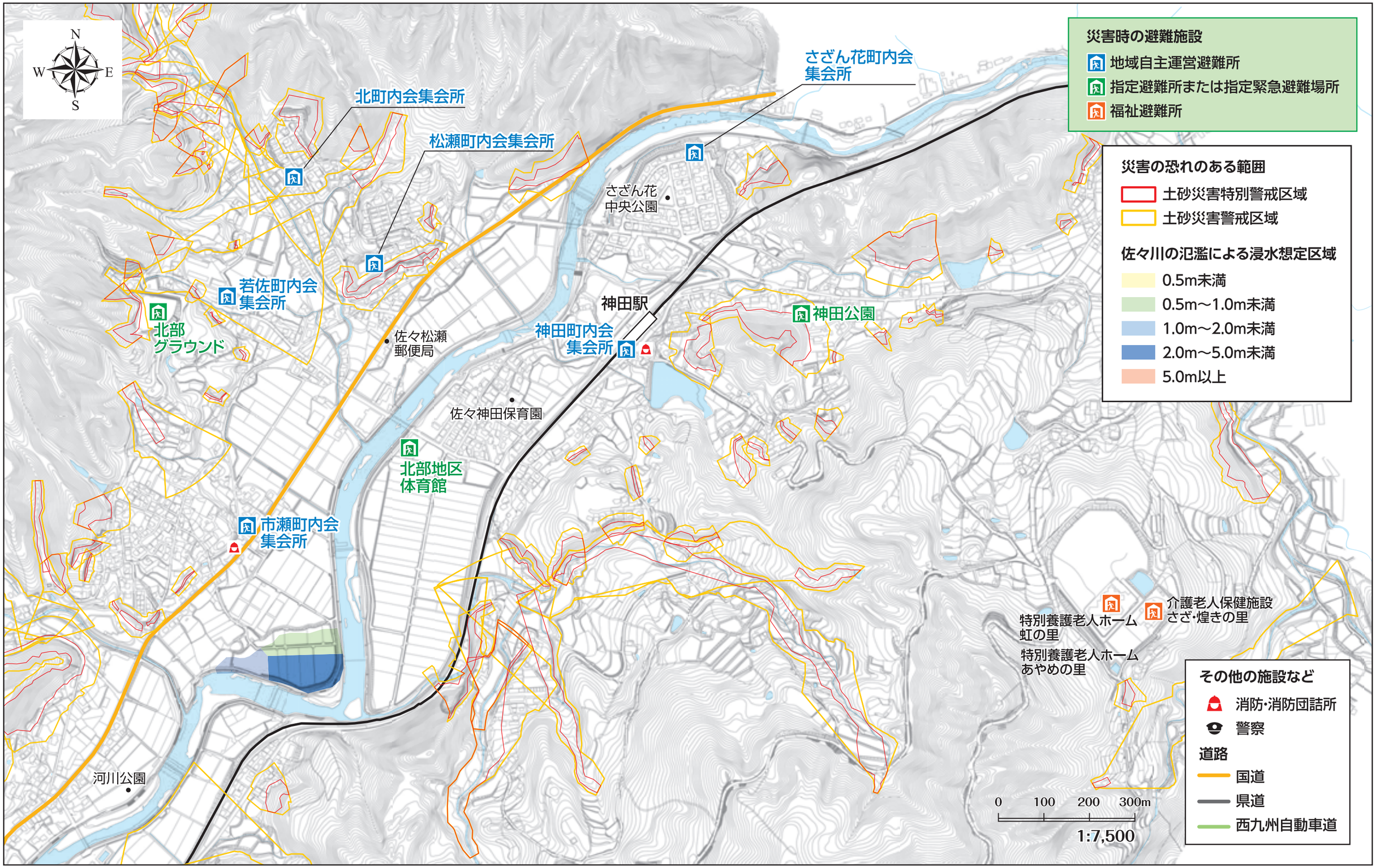
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

参考　1000年に一度の大雨が降ったらどうなる?

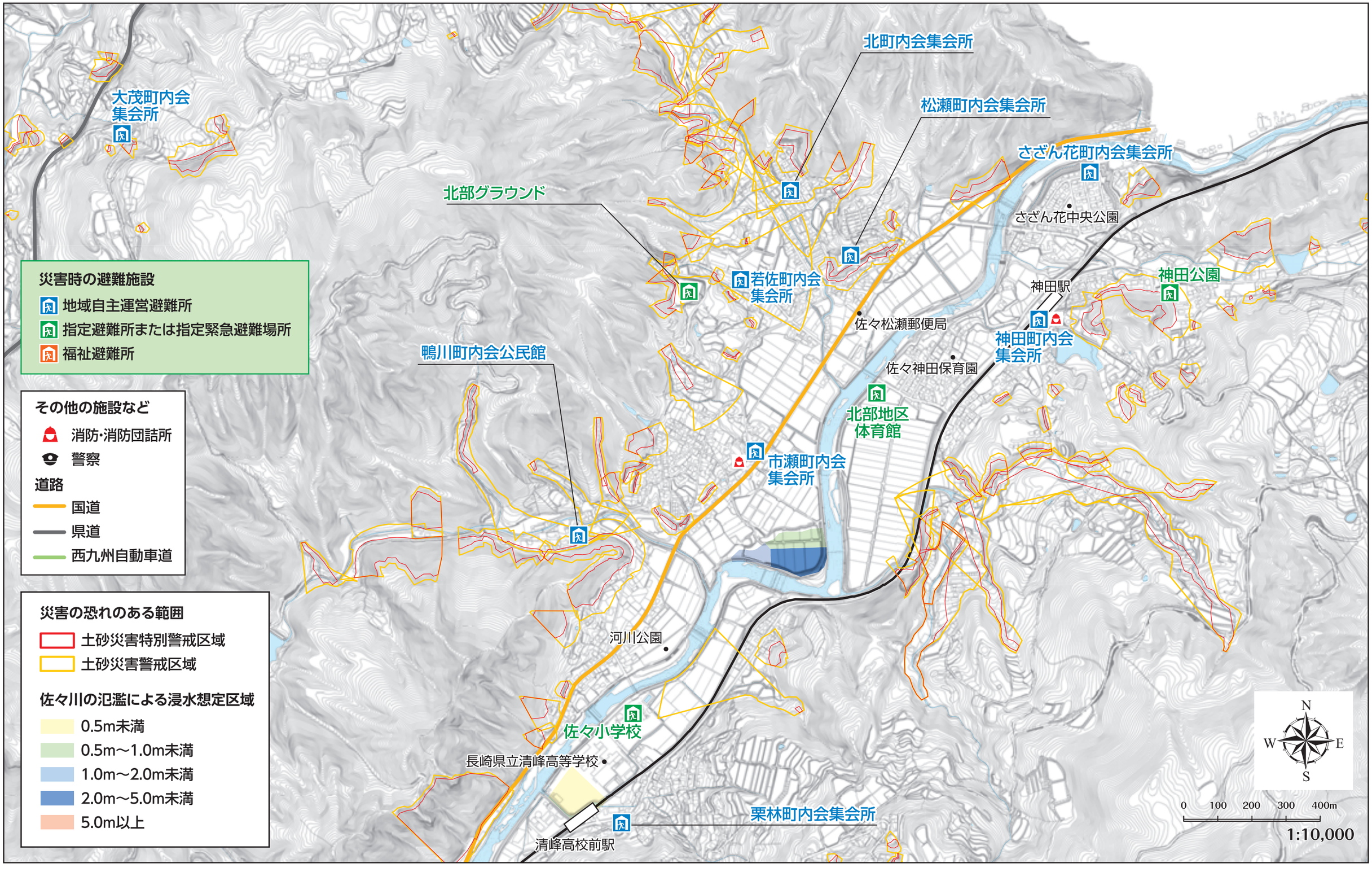


この図面は、1,000年に一度の大雨が降った場合の浸水想定区域図です。このような大雨は頻繁には降りませんが、いつこのような大雨が降るかはわかりません。
万が一に備え、出来るだけ早めの避難を心がけましょう。

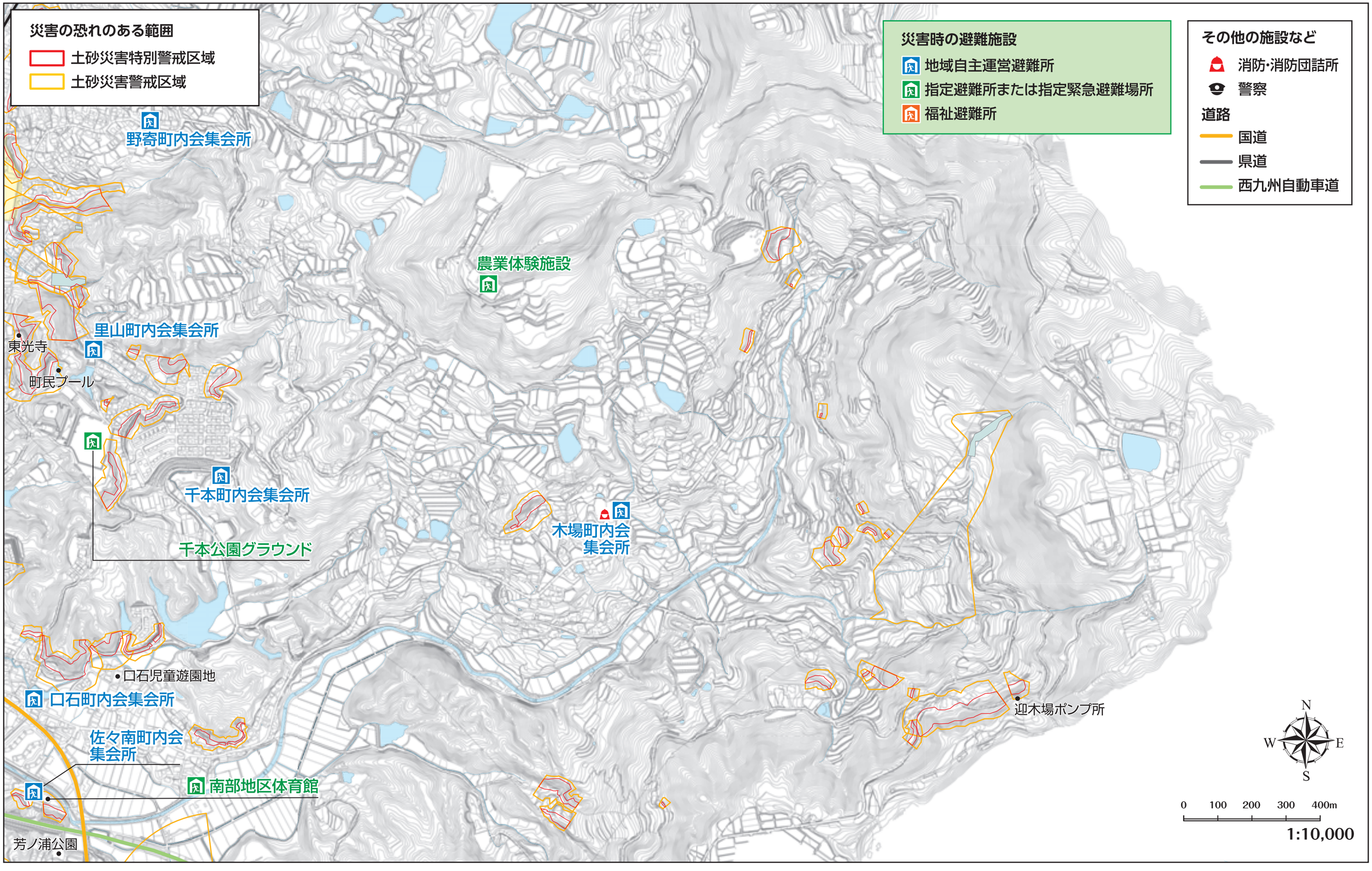
神田・さざん花地区ハザードマップ



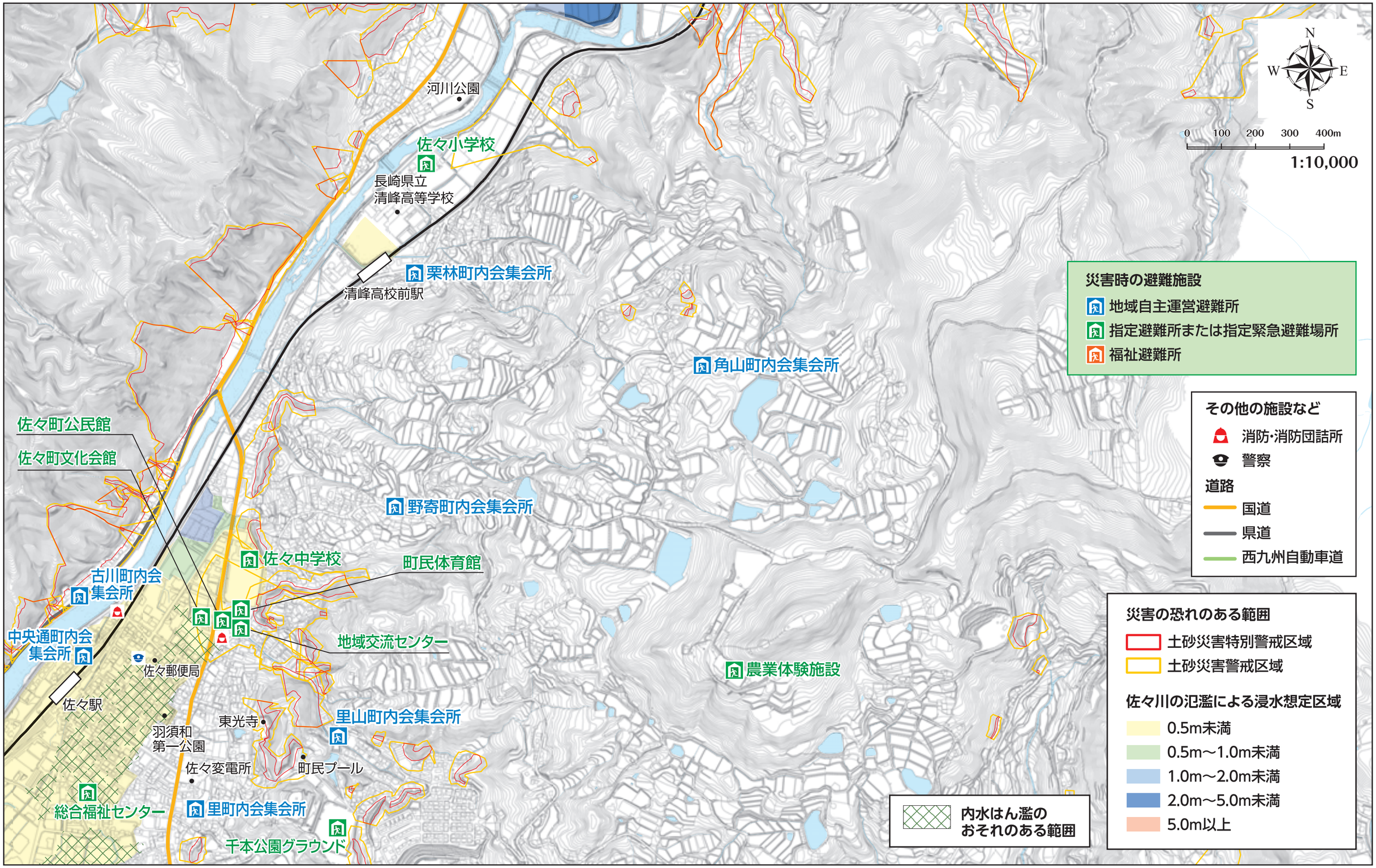
北・若佐・松瀬・市瀬・鴨川地区ハザードマップ



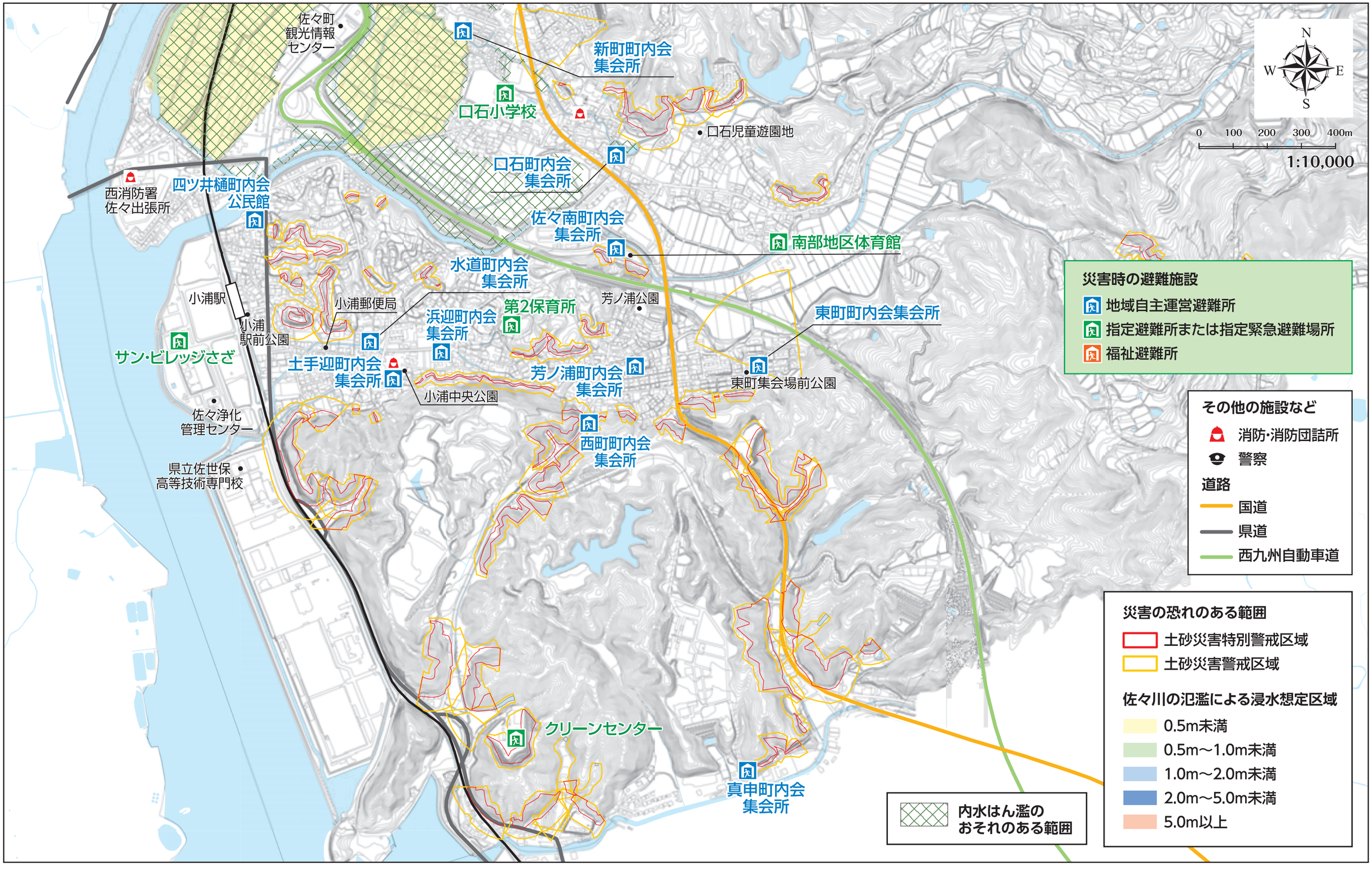
木場地区ハザードマップ



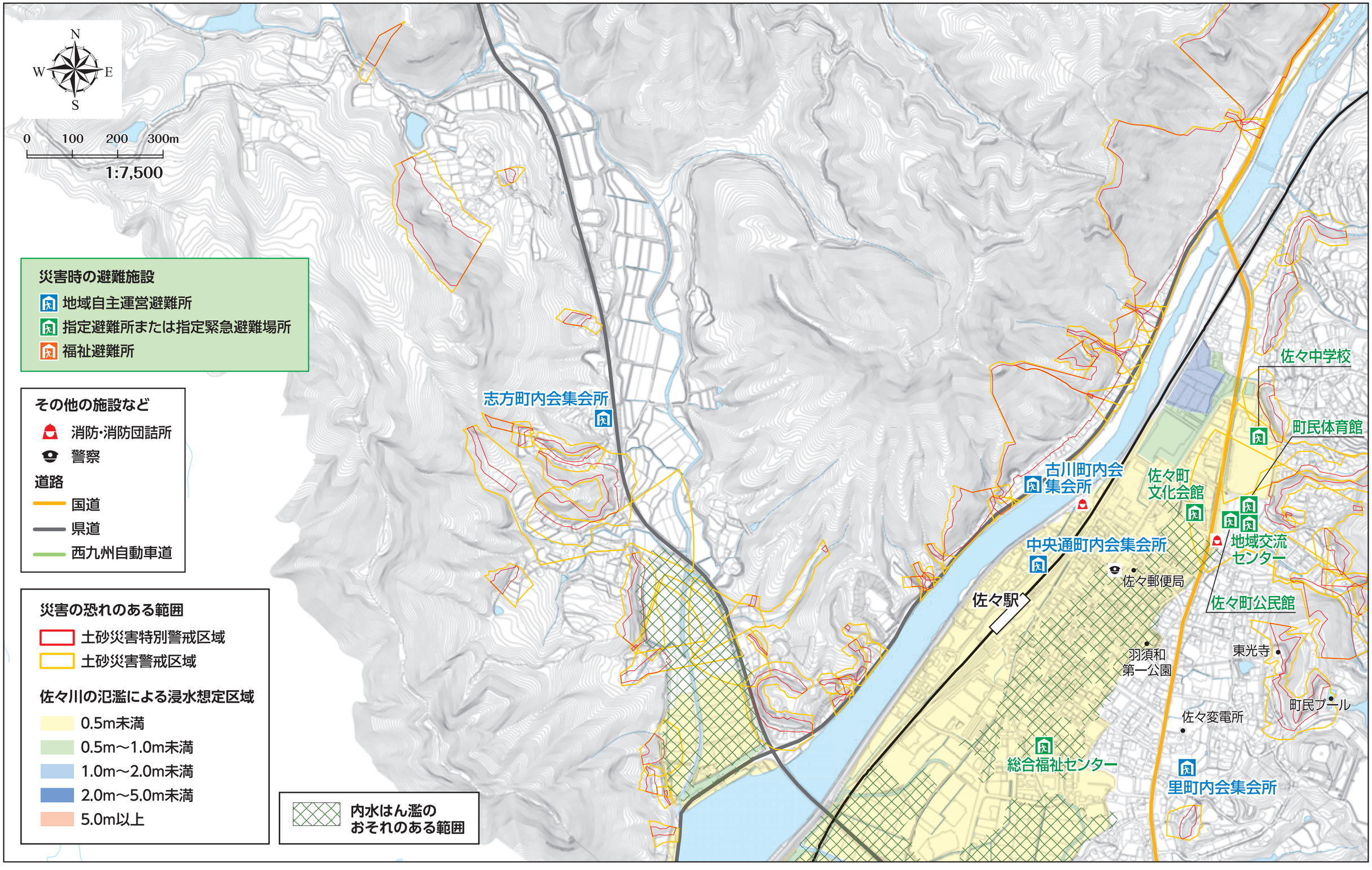
栗林・角山・牟田原・野寄地区ハザードマップ



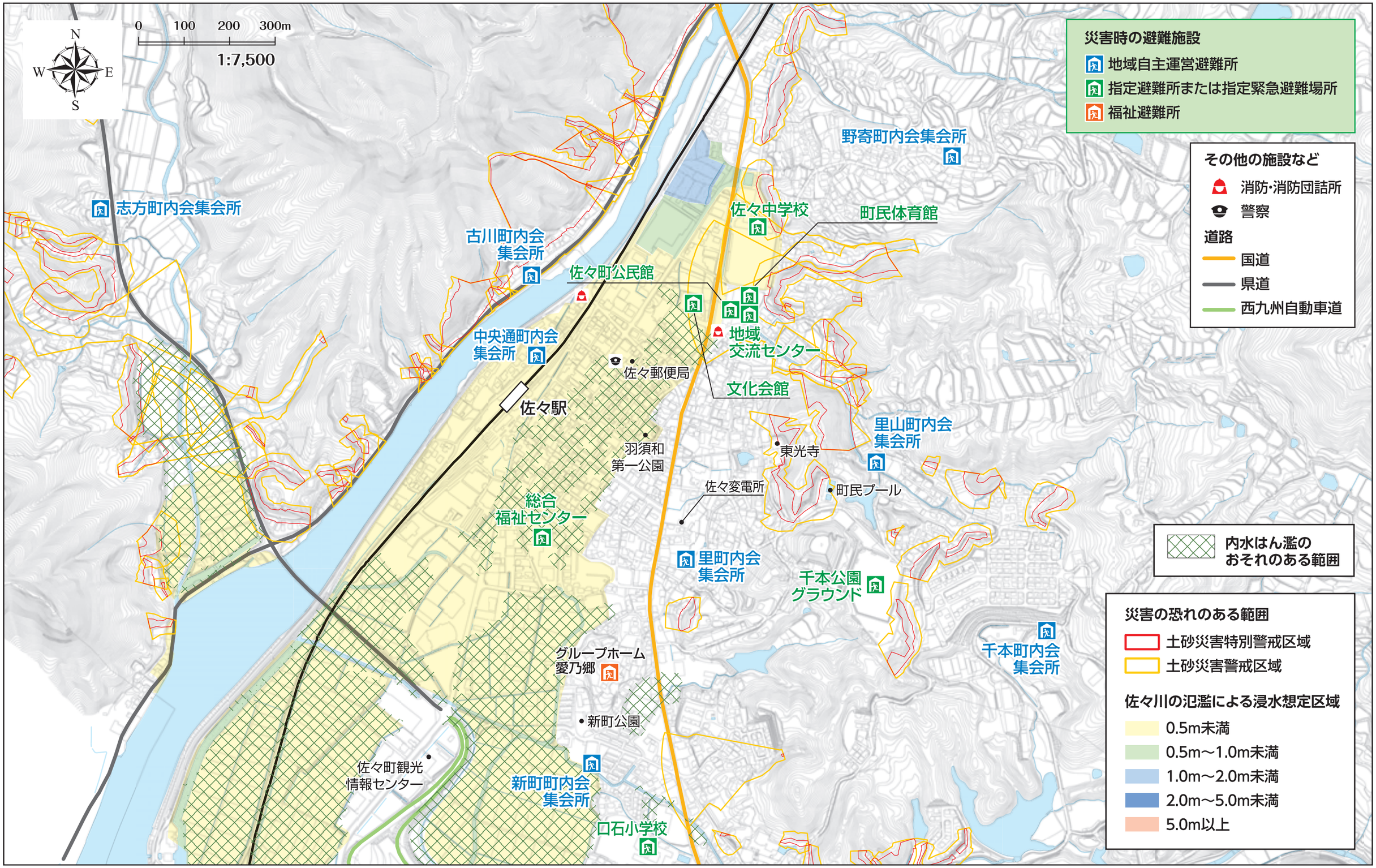
四ツ井樋・佐々南・東町・口石・芳ノ浦・西町　　真申・土手迎・浜迎・水道・沖田地区ハザードマップ



志方・古川地区ハザードマップ



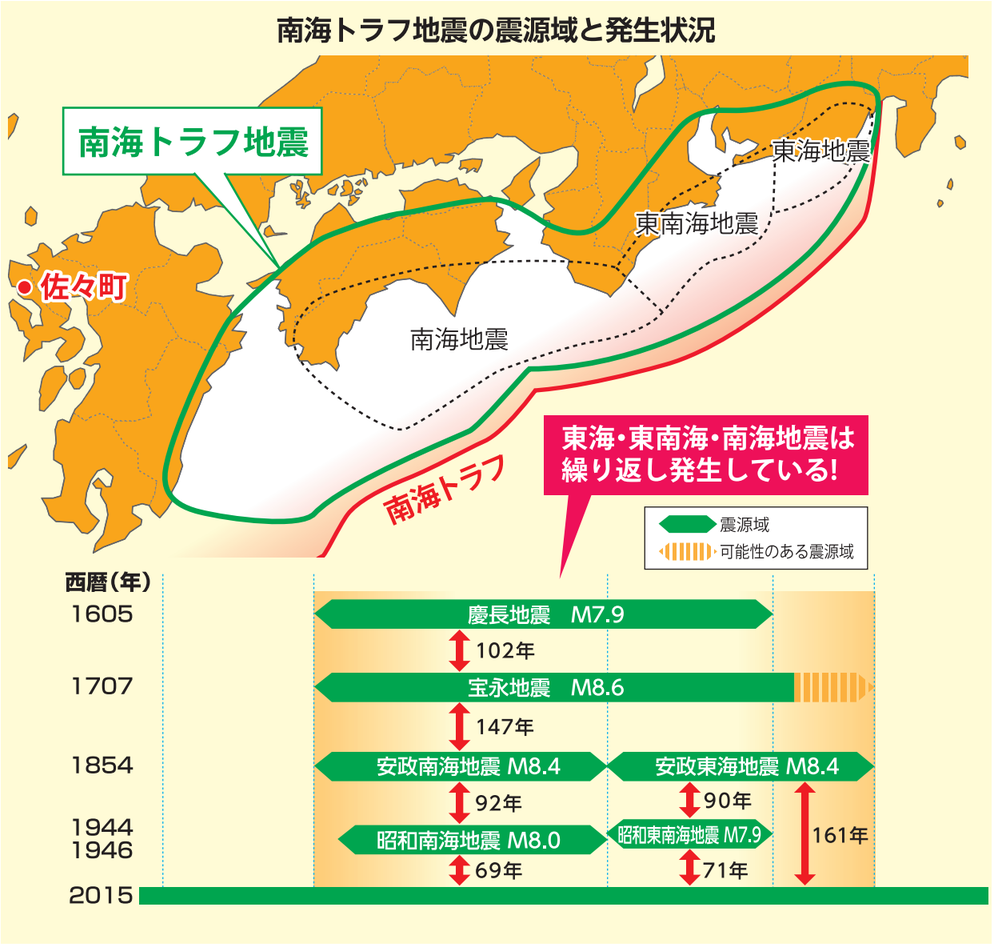
中央通・新町・里・里山・千本地区ハザードマップ



佐々町にも地震は起こるの？

日本全国で南海トラフ巨大地震の発生が懸念されています！

静岡から九州近辺まで伸びている海溝（南海トラフ）では、「東海地震」、「東南海地震」、「南海地震」が、おおむね100年から150年の周期で発生しています。南海トラフ地震は、この3つの地震の震源域を合わせた範囲よりも広い範囲を震源域として想定した地震です。
※震源域 … 地震の発生によりずれ動いた岩盤の範囲のこと。震源域が広いほど規模の大きな地震となる。



長崎県内で想定される被害

マグニチュード	建物全壊	直接被害額	死者数	避難者数最大	断　水
9.0	400棟	1,000億円	80人	1万8,000人	2,000人

南海トラフ地震は震源域がとても広く、関東から九州一帯に大きな被害をもたらすと予測されています。特に、沿岸部では津波による大きな被害が懸念されています。

どのような危険性があるの？

地震時の行動

地震が起こったら、まず揺れから身を守ることが大切です。身を守るための対処法を覚えておきましょう。揺れから身を守った後は、状況を確認するために情報収集をしましょう。

屋内にいたら

家の中では

- 大きな揺れを感じたら、テーブルの下に隠れ、身を守りましょう。
- 裸足で歩きまわらないようにしましょう。
- 乳幼児や病人、高齢者などの安全を確保しましょう。

会社では

- 窓際や資料棚など、物が落ちてくる場所から離れて、机の下などに入って身を守りましょう。

安全確認　電気・ガス

避難が必要な時には、ガスの元栓や電気器具からの出火を防ぐためブレーカーを切り避難する。

学校では

- 先生や校内放送の指示に従いましょう。
- 教室内にいるときは、すぐに机の下にもぐり、身を守りましょう。
- 窓や本棚から離れましょう。

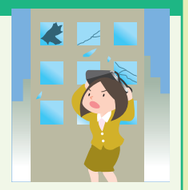
エレベーターの中では

- 自動停止した階で降りましょう。自動停止しなければ、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出ましょう。
- 閉じ込められたときは、非常ボタンやインターホンで連絡をとり、救出を待ちましょう。

屋外にいたら

繁華街では

- ガラスや看板などの落下物に注意しましょう。
- 頭上からの落下物があるときは手荷物などで頭を守りながら、近くのビルなどに逃げましょう。



地下街では

- 柱や壁に身を寄せて、あわてずに揺れが収まるのを待ちましょう。
- 火災が発生した場合は、ハンカチなどで鼻と口をおおって、壁づたいに姿勢を低くして地上をめざしましょう。

電車の中では

- 転倒や落下物に注意して、つり革や手すりにつかまりましょう。
- 座っているときは、足を踏ん張って状態を前かがみに、手荷物などで頭を守りましょう。

車の運転中では

- 道路の左側に停車し、揺れがおさまるまで車内ラジオなどで情報を聞きましょう。
- 避難が必要なときは、カギはつけたまま、ロックせず、車検証などを持って、徒歩で避難しましょう。

地震から身を守る方法

1 まずは！

- 落ちついて、自分の身を守る。
- 揺れがおさまってから、すばやく火を始末する。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

2 次に…

- 火元を確認、出火していたら初期消火。
- 家族や周りの人の安全を確認。
- 非常持出品を手近に用意する。
- 逃げるときは靴をはく。
- ブレーカーの切断。

地震ハザードマップ

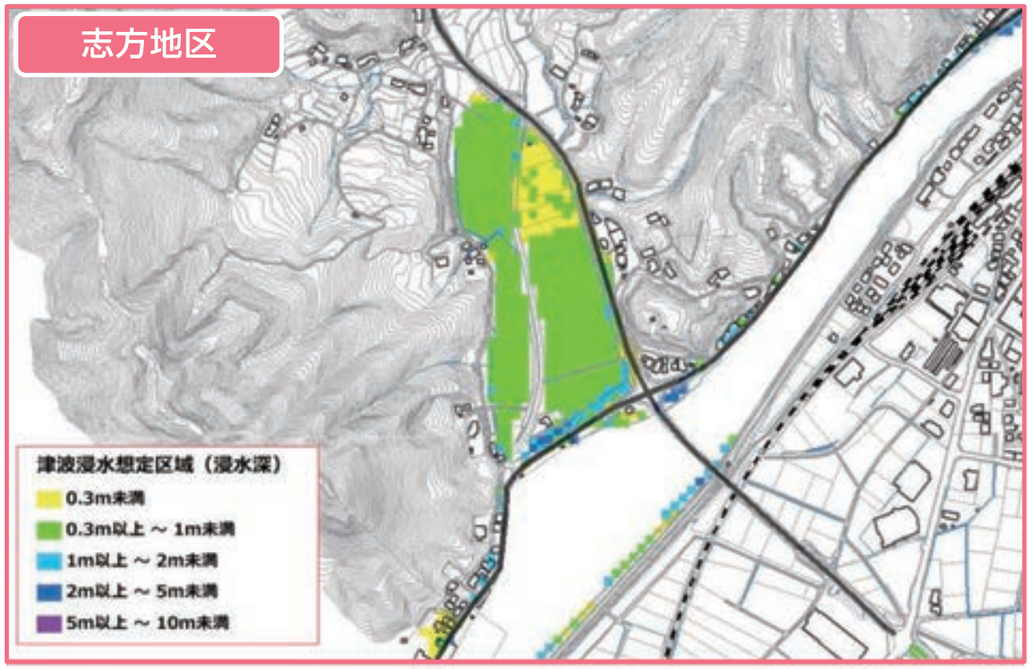
地震（ゆれやすさ）ハザードマップ

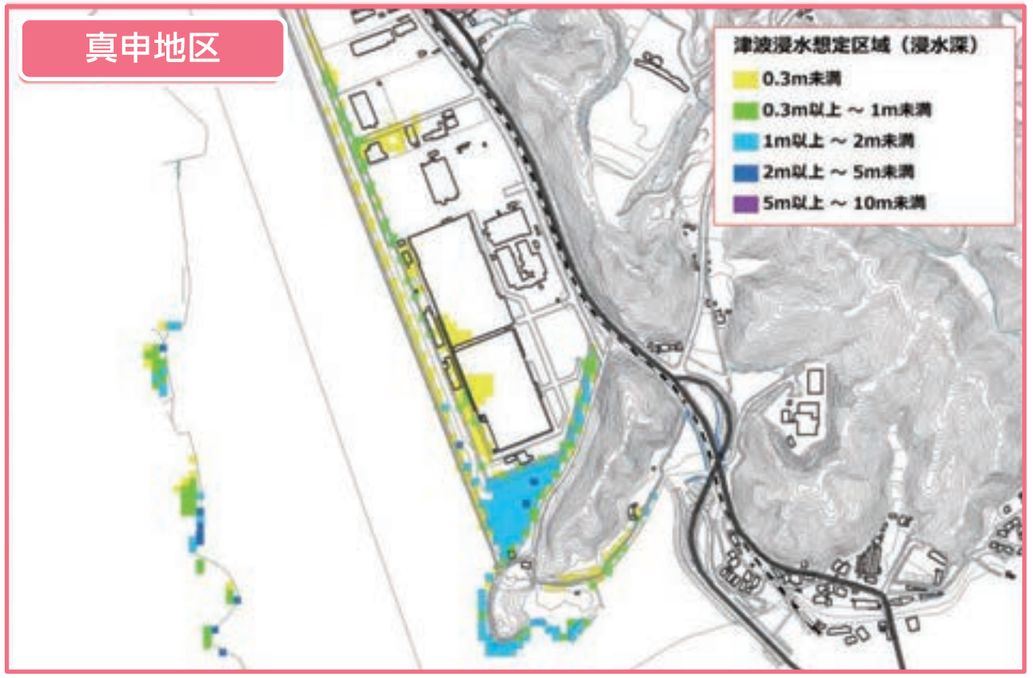
このマップは、長崎県が平成18年3月に公表した佐々町の近辺で直下型の地震が発生した場合の揺れやすさ（震度）を示したものです。

● 県内全域でM6.9（震源断層上端の深さ3km）の地震を想定した場合の震度分布

津波ハザードマップ

このマップは、長崎県が平成28年10月に公表した津波災害警戒区域を示したものです。





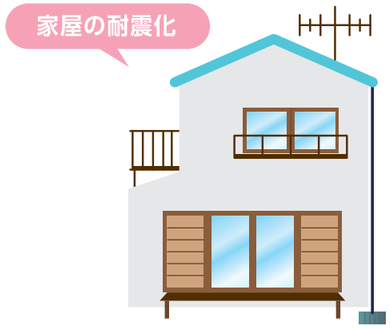
被害を最小限に抑える対策を実施しよう

地震への備え

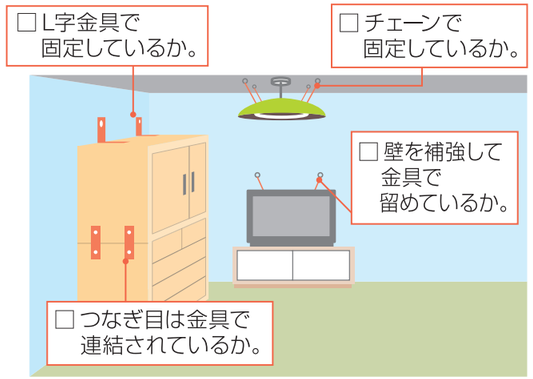
家の「耐震化」、地震に強い家にする

佐々町では、地震被害に対する建物の安全性を高めるために、耐震診断の費用、耐震設計の費用、耐震改修工事の費用の補助を行っています。

お問い合わせ先
佐々町役場　建設課　　Tel：0956-62-2101



家具の転倒防止・家具などの固定や配置を工夫する



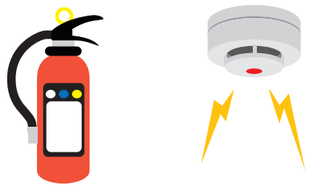
家具などが倒れないようにしましょう

配置も注意しましょう

二次災害へも備える

火災への備え

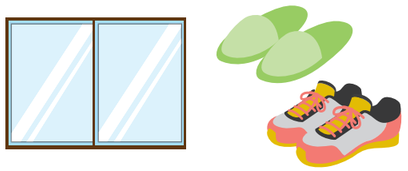
消火器　**火災警報器**



- □ 消火器や火災警報器の設置及び点検はできているか。
- □ 感震ブレーカーの設置はしているか。
- □ 地震保険への加入はしているか。

室内での備え

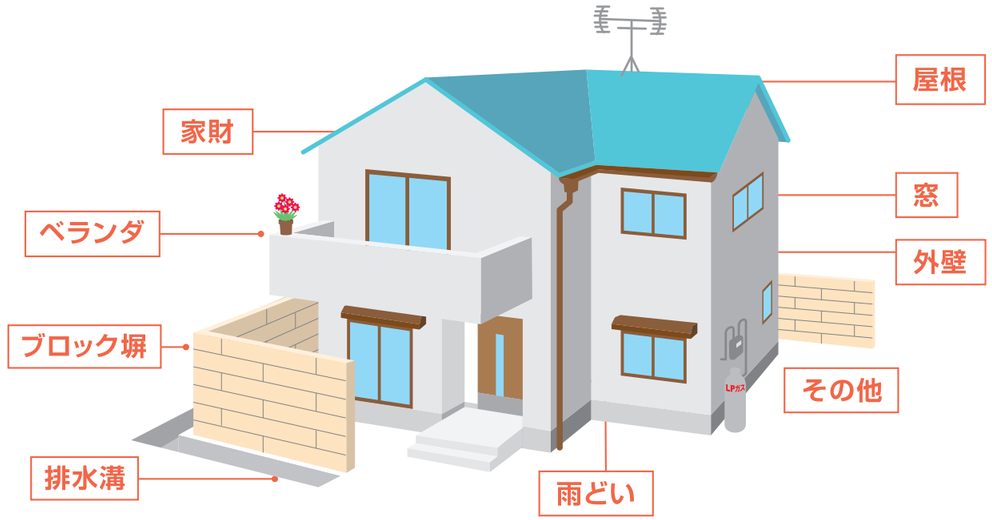
飛散防止フィルム　**スリッパ・スニーカー**



- □ 窓ガラスや食器類の破片対策として、飛散防止フィルム、スリッパなどの準備ができているか。

風水害への備え

家の周りを確認し、対策を行う



年に1度は、自分の家をチェックしてみよう!

屋　根

- □アンテナは不安定ではないか。
- □トタンがめくれていないか。
- □瓦のひび･割れ･はがれがないか。

ベランダ

- □植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか。

外　壁

- □壁に亀裂はないか。

窓

- □窓枠のがたつきはないか。
- □雨戸にがたつきはないか。

雨どい

- □雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- □継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはないか。

排水溝

- □排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。

ブロック塀

- □ブロック塀は崩れそうになっていないか。

家　財

- □貴重品などは、すぐに持ち出せるようになっているか。
- □濡れて困るものをあらかじめ高い場所へ移動しているか。

その他

- □商店などでは看板のぐらつきがないか。
- □ゴミ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- □庭木には添え木をしているか。
- □プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか。

地域で協力しよう

地域の絆で人命救助

平成26年11月22日に発生した長野県北部を震源とする最大震度6弱の地震では、長野県小谷村や白馬村などで46人がケガをし、141棟の住宅が全半壊する被害が出ました。しかし、これだけの大規模な災害にも関わらず、犠牲者は誰一人いませんでした。住民がお互いの家族構成などを把握していたことにより、警察や消防本部などの活動を待たずにスムーズな救出を行うことができたのです。普段から住民同士の顔の見える関係づくりが、地域の防災力向上につながっているのです。

自主防災組織に参加しよう

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。定期的に防災に関する学習や訓練の実施を行います。地域住民と話し合うことで、顔の見える関係づくりができ、地域の防災力が高まります。

自主防災組織の活動内容

平常時
- 防災知識の普及・啓発
- 防災環境の確認
- 家庭の安全確認
- 防災資機材の整備・点検
- 防災訓練の実施

災害時
- 初期消火
- 救出・救助
- 情報の収集・伝達
- 避難誘導
- 避難所の管理・運営

地域ぐるみで避難行動要支援者を守ろう

高齢者、乳幼児、障がい者、日本語に不慣れな外国人など、災害時に自分の身を守ることが難しい人が多くいます。また、災害が起きてケガをするなど、誰もが避難行動要支援者となる可能性があります。こうした方を災害から守るためには、地域一丸となって支える体制づくりが重要です。

point 日頃から地域のコミュニケーションづくりを心掛けましょう！

非常時持出品・非常備蓄品を準備しておこう

非常持出品を揃えよう

枕元に置いておきたいもの

- □ 運動靴（底が厚いもの）
- □ 懐中電灯・ヘッドライト
- □ 防寒着
- □ 非常持出袋（リュックサックなど）
- □ 携帯電話（充電器）

非常持出袋に入れておくもの

- □ 貴重品　財布・お金（公衆電話用に10円玉）・通帳・印鑑・健康保険証（コピー可）など
- □ 常備薬・救急セット
- □ ビニール袋・ゴミ袋
- □ ティッシュ・濡れティッシュ
- □ 携帯ラジオ
- □ 電池・充電器類
- □ LEDライト・ローソク
- □ 着替え（下着・靴下）
- □ 非常食
- □ 飲料水

あると便利なもの

- □ 防災ずきん・ヘルメット
- □ 軍手・ゴム手袋
- □ 防寒具・雨具
- □ タオル・毛布
- □ めがね・コンタクトレンズ
- □ マスク
- □ 使い捨てカイロ
- □ 工具
- □ 筆記具（油性ペン）
- □ 簡易食器（割り箸、紙皿）
- □ マッチ・ライター
- □ 携帯トイレ
- □ 生理用品
- □ 佐々町総合ハザードマップ（この冊子）

家族構成によって必要なもの

乳　幼　児	□ 離乳食	□ 粉ミルク・ほ乳瓶	□ おむつ・おしりふき	□ おんぶひも
高　齢　者	□ 入れ歯	□ 介護食	□ 大人用おむつ	□ 補聴器
疾患のある方	□ 主治医連絡先	□ 持病の薬	□ お薬手帳	□ ストーマ装具（人工肛門、人工膀胱）
ペ　ッ　ト	□ リード	□ ケージ	□ 排せつ用品	□ ペットフード

非常備蓄品を揃えよう

- □ **日頃の買い置き**
  保存性のよい食料や水を買い置きし、消費したら買い足す
  （ローリングストック法（※右図参照）による管理を実践してみましょう）
- □ **3日分以上の食料**
  缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- □ **飲料水**
  大人1人当たり1日 2～3リットル
- □ **カセットコンロ・ガスボンベなど**
- □ **缶切り**
- □ **ラップ**

ローリングストック法

賞味期限切れになってしまう前に消費する、経済的な方法です。

point 年に数回は必ずチェックして、災害に強くなろう。

家族で防災会議をしよう

自宅周辺の避難場所を確認しよう

災害が発生したらどこへ避難するのか、前もって確認しておきましょう。

■ 自宅の災害想定

- 震度予測　震度 ［　　］
- 浸水想定　［　　］ m
- 土砂災害警戒区域　有・無

■ 自宅周辺の避難所 ／ 避難場所

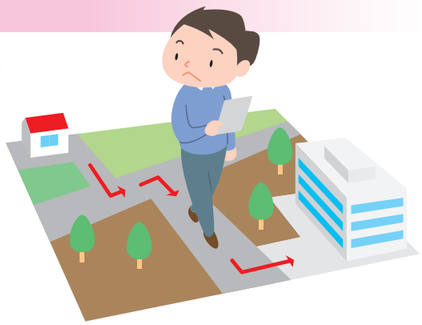
［　　］

わが家の避難経路図

実際に避難ルートを歩き、危険な場所がないか確認しよう

避難ルートのチェックポイント

- □ 川や水路など、大雨の際に危険な箇所はないか?
- □ 坂道や階段などの歩きにくい箇所はないか?
- □ 夜間での避難を想定し、街灯などはあるか?
- □ 自宅から避難先までの時間はどの程度か?
- □ 避難途中で逃げ込めそうな場所はあるか?



家族が離れ離れになったときの落ち合う場所を決めよう

災害はいつ、どこで発生するかは分かりません。家族が離れているときやバラバラになってしまったときに落ち合う場所を決めておきましょう。

■ 家族の落ち合う場所

［　　］

安否確認の方法を決めよう

家族の連絡方法を決めておきましょう。
避難するときは自宅に避難先などの張り紙をして、安否を確認するルールを決めておきましょう。
連絡先を裏表紙に記入しておきましょう。
災害用伝言ダイヤルの使い方について確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル(171)　災害用伝言ダイヤル(171)は、災害時にNTTから提供される「声の伝言板」です。

使用方法を知っておきましょう。(※サービス開始は、テレビ·ラジオなどで通知されます)

録音の伝言	171 ▸	1 ▸	被災した家の電話番号 ▸	伝言を入れる(30秒以内)	ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。
再生の伝言	171 ▸	2 ▸	被災した家の電話番号 ▸	伝言を聞く	ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

※携帯電話でも、「災害用伝言板」が利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。　※毎月1日、15日に体験利用ができます。1度体験してみましょう。

災害用伝言板(web171)　災害用伝言板(web171)は、インターネットでできる災害用伝言板です。

自分の安否情報を登録することができ、インターネットなどを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。
また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

災害用伝言板
(web171)
https://www.web171.jp

自宅内に危険な場所がないか確認しよう

地震発生時、家具·家電などの転倒により、ケガをしたり、逃げ道がふさがれたりする可能性があります。
37～38ページを参考に、家族で自宅内の危険な場所を探し、家具転倒防止金具の設置や家具などの配置を変更するなどしましょう。

非常持出品・非常備蓄品の確認をしよう

40ページを参考に考えてみましょう。
記載しているもの以外にも人によって必要なものがあるかもしれません。